クレーンで２階に運ばれるＡＴＡハイブリッドトラス

愛知県で採用第１号

高性能トラスで11mの大空間

鉄骨造の大空間を木造で実現

ハウスドゥ大府東浦店・リフォームギャラリー大府新店舗

木造 中大規模 建築

中大規模木造新工法「ＡＴＡハイブリッド構法」の採用が進んでいる。11月21日に愛知県大府市で行われたハウスドゥ大府東浦店・リフォームギャラリー大府新店舗の建設工事（施工：㈱エネチタ・ホームエコ、設計：関建設事務所、プレカット：㈱シンホリ　デザイン：鳥居デザイン事務所）における建て方工事では、片流れ屋根に3フレームのＡＴＡハイブリッドトラスが用いられた。

建物は道路沿いに面した総２階建の１００坪のショールーム兼事務所。ＡＴＡハイブリッド構法による片流屋根用の張弦梁を3フレーム用いて11ｍ×11ｍの大空間を実現して

ＡＴＡハイブリッド構法による片流屋根用の張弦梁を３フレーム用いて 11 m× 11 mの大空間を実現

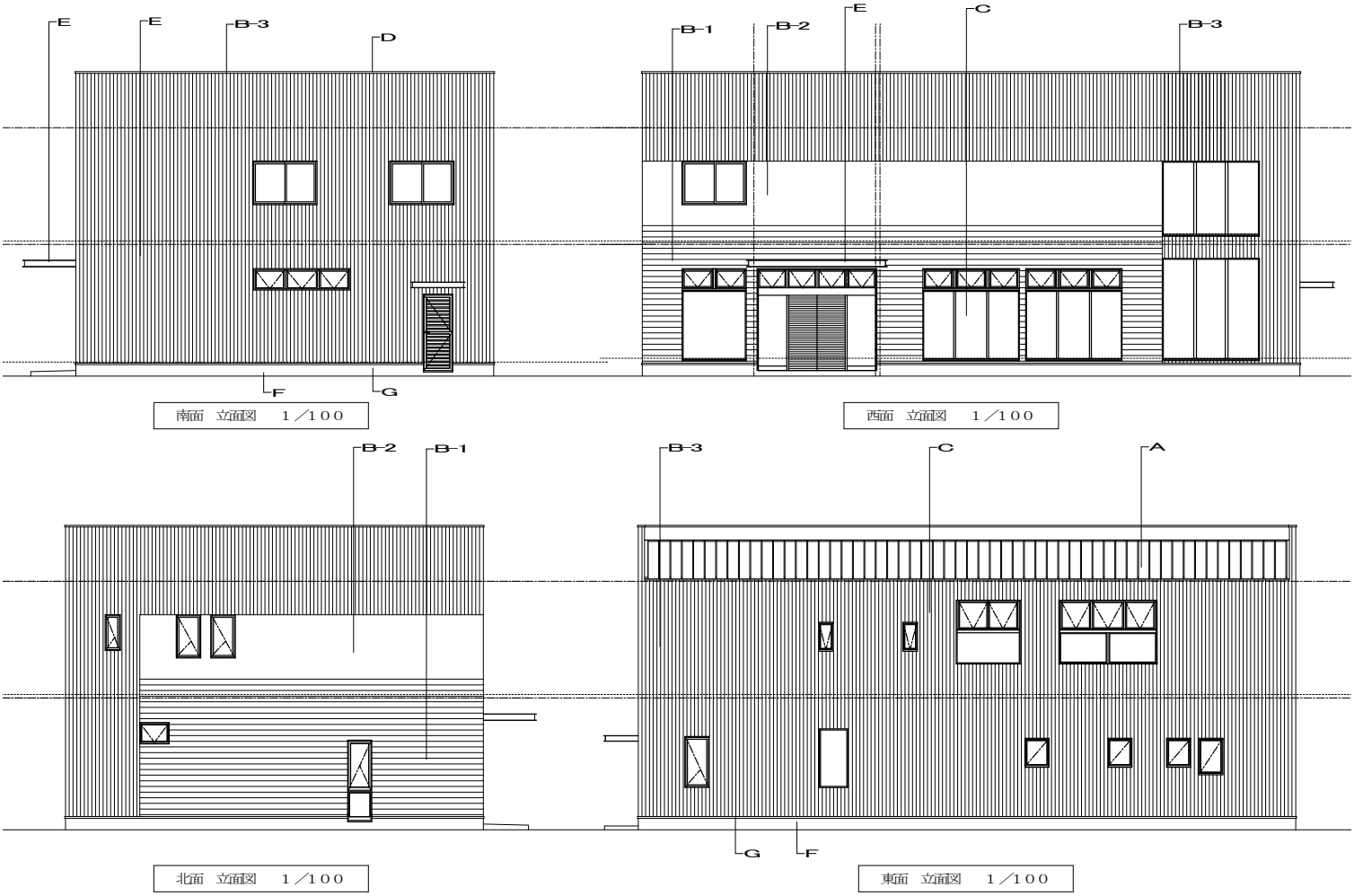
スケッチ：鳥居デザイン事務所

完成イメージ

いる。これにより、鉄骨造の大空間を木造で実現でき、コスト面では、鉄骨造よりも低コストを実現できるようになった。

ＡＴＡハイブリッド構法は、㈱ＡＴＡ（大空間木造膜構造研究室　富山県滑川市／大倉義憲代表取締役）で開発された中大規模木造向けの構法である。もともと大空間を木の柱と梁で構成する場合は、梁が大断面となってコスト増を招きやすい。この大断面の梁の代わりに鋼製のタイロッドを渡した張弦梁による構法とすることで、低コストの一般流通材のみを使った架構を実現する。

協力工場として同物件でプレカット部材の提供を行った㈱シンホリ（愛知県半田市）では、取引先工務店のためのＺＥＨモデルハウスを今年建設するなど工務店向けの支援に力を入れている。シンホリの芳賀営業部長と半田営業課の眞野氏によると、ＡＴＡハイブリッド構法は、取引先の工務店や設計事務所が、中大規模建築を木造で手がける上での支援ツールになると期待しているという。特に経済性については強力な支援がある。㈱ＡＴＡから送られてく



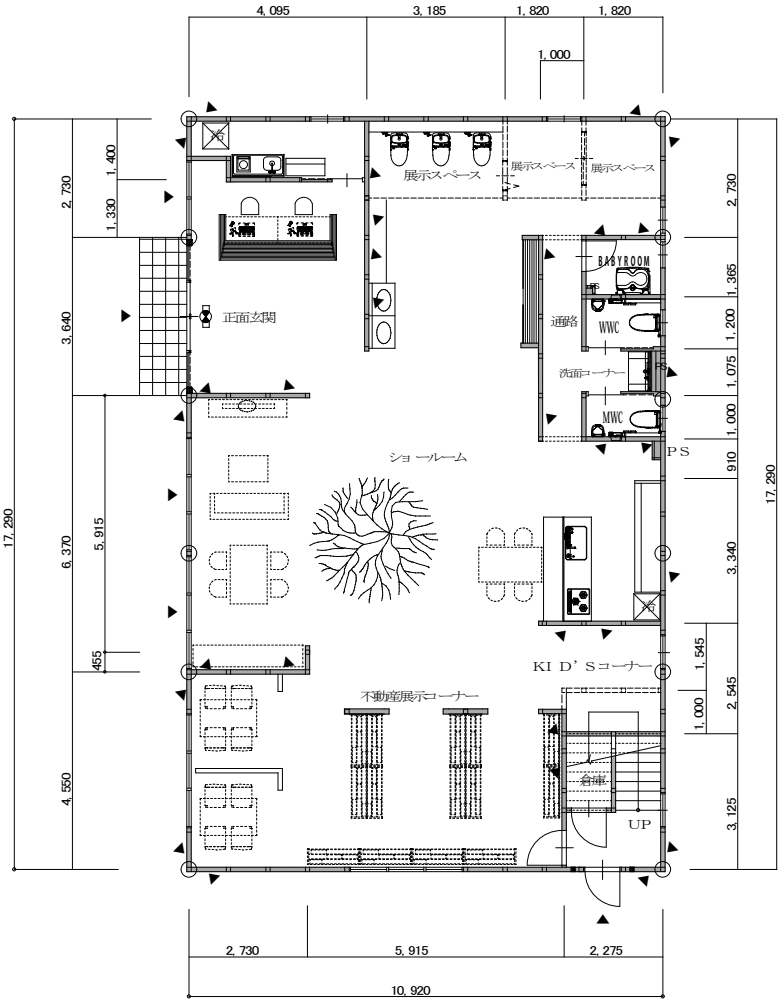
資料提供：関建設事務所

「ハウスドゥ大府東浦店・リフォームギャラリー大府新店舗」の立面図（上）

る見積もり営業資料には、ＡＴＡハイブリッド構法を採用した場合に、鉄骨造にしたらいくらになるのか、木造でＡＴＡハイブリッド構法を採用したらいくらになるのかということが基礎のコンクリート分の価格も含めた坪単価の比較で送られてくるので、取引先の工務店に対して、コスト面での提案がしやすいということがある。

プレカット工場側でＡＴＡハイブリッド構法が嬉しい理由は、木工機械などの設備投資を必要としなかった点である。工法採用の条件として工場への設備投資の負担がなかったことでＡＴＡハイブリッド構法のコストに反映することができ、比較的安価に提供できる見通しが立った。5月に大府の勤労会館にて工務店・設計事務所向けに講習会を開催したところ、早くも第1号の受注があり、知多半島で幅広く事業を展開している㈱エネチタ・ホームエコが採用。ハウスドゥ大府東浦店・リフォームギャラリー大府新店舗の建設工事においてこのたび採用されることになった。

なお、最新情報として注意を呼びかけているのは、まだ普及していな

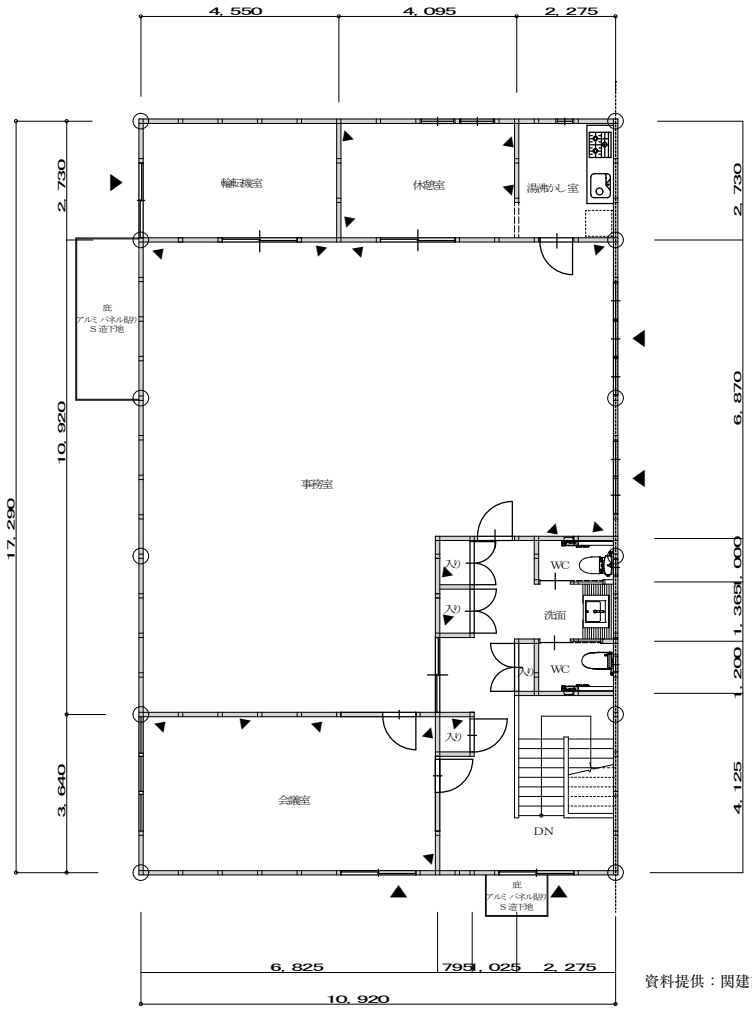


「ハウスドゥ大府東浦店・リフォームギャラリー大府新店舗」の1階平面図（右）

資料提供：関建設事務所

い工法だけに審査機関側で慎重になって時間がかかりそうになった事例があったので、㈱ＡＴＡでは確認申請を迅速に通せるように技術資料を取り揃えてサポートに力を入れている。

また、同地での採用第2号として、サービス付き高齢者住宅の物件が出てきた。これは同じく2階にＡＴＡハイブリッド構法を2フレーム採用した大空間として、2階に共用部を置いて、1階を居室とするプランを予定しており、年明け以降に建築が進められる予定だ。



「ハウスドゥ大府東浦店・リフォームギャラリー大府新店舗」の2階平面図（右）

資料提供：関建設事務所